

船舶事故調査報告書

平成22年5月13日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	平成22年1月23日 15時10分ごろ
発生場所	長崎県五島市 伊福貴港島防波堤西灯台から真方位237° 1海里付近 (概位 北緯32° 44.8′ 東経128° 57.1′)
事故調査の経過	平成22年1月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ちよ丸、4.56トン NS3-600546（漁船登録番号）、個人所有 10.40m (Lr) × 2.32m × 0.81m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和55年9月24日
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和59年5月25日 免許証交付日 平成20年10月27日 (平成26年5月24日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長ほか同乗者1人が乗船し、五島市伊福貴漁港沖を西進中、船長が沖の波が少し高いのを認め、船首に置いてある錨が海に落下するのを防止するため、操舵室にいた同乗者に錨を固定するよう指示し、停止した。 同乗者は、船首で錨を固定して操舵室に戻ると、船長がいなくなっていたため、周囲を捜したところ、平成22年1月23日15時10分ごろ、船尾から約1mの海面にうつ伏せで浮いている船長を発見した。 同乗者は、船長を引き上げることができなかったため、本船に縛り付け、近くの島で魚釣りをしている釣り人に大声で助けを求めた。 釣り人は、携帯電話で瀬渡船に救助を依頼し、10～20分後に瀬渡船が到着して瀬渡船の甲板員と同乗者が船長を本船に引き上げ、伊福貴漁港に帰港して診療所に搬送したが、溺死していることが確認された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3 海象：海面 少し高い波

その他の事項	<p>船長は、事故当日12時ごろから15時ごろまで、自宅で同乗者とともに、焼酎を約2合飲んで、伊福貴漁港を出港した。</p> <p>船長は、乗船中、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>同乗者は、携帯電話を持ってくるのを忘れていた。</p> <p>同乗者が船首で錨を固定するのに要した時間は、2～3分間であった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>死因は溺死であった。</p> <p>船長は、本船が伊福貴漁港沖で停止中、同乗者が船首で錨を固定する作業を行っている際、救命胴衣を着用せずに落水した可能性があると考えられる。</p> <p>船長が落水した状況については、明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が伊福貴漁港沖で停止中、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。</p>	